

部局名	上下水道局	所属名	給排水相談課	所属長名	竹内 賢和	電 話	483-6156
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9920		事務事業名称	水道料金及び下水道使用料徴収費						短縮コード	経常	9920	臨時	
予算区分	会計	63	水道事業会計_収益的支出	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	04	業務費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市水道事業給水条例等							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
・水道事業開始以来。 ・給水条例第2 2条、同施行規程第1 6条の規程により、水道料金を徴収する。 ・昭和5 8年度から事業管理者に事務を委任する規則に従い、下水道使用料を併せて徴収する。 ・平成2 0年度から公共下水道事業会計の下水道使用料徴収費と共同事業になる。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
給水件数の増加に伴う業務量の増加及びニーズの多様化。						大項目（節）	04	水道						
						中 項 目		01	水道					
						小項目（施策）		01	水道の運営基盤の向上					
						細 項 目		03	水道事業の健全経営					
実施計画の計画事業														
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		平成20年4月 ～ 平成21年3月		計 画 事 業 費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	水道使用者 下水道使用者							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 債務負担行為により3ヶ年の業務委託契約を行う。 隔月に水道使用量を検針し水道料金及び下水道使用料を賦課・徴収・収納・消込業務。 委託業務内容について、適正に業務が遂行されているか委託会社の監査を行う。							
	※平成21年度に計画していること： 隔月に水道使用量を検針し水道料金及び下水道使用料を賦課・徴収・収納・支出・消込業務。 委託業務内容について、適正に業務が遂行されているか委託会社の監査を行う。							
意図 （何を狙っているのか）	水道料金等を遅滞なく徴収する。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外。							
区 分				単位	1 9 年度	2 0 年度		2 1 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	給水件数	件	77, 955	80, 031	79, 809	79, 900	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	水道料金を収納する	円	3, 030, 163, 699	3, 054, 328, 296	2, 986, 222, 791	3, 003, 946, 172	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	水道料金の収納率	%	92	100	92	100	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		9920	事務事業名称	水道料金及び下水道使用料徴収費			所属名	給排水相談課
			単位	１９年度	２０年度		２１年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	241, 443	226, 105	219, 181	221, 171	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			八千代市 水道・下水道業務検針及び収納 事務委託料 229, 046千円(464, 158件)	八千代市 水道・下水道業務検針及び収 納事務並びに支出事務委託料 216, 027千円(485, 016件)	八千代市水道・下水道業務検針 及び収納事務並びに支出事務委 託料 209, 283千円	八千代市水道・下水道業務検 針及び収納事務並びに支出事 務委託料 210, 955千円	
人件費(B)			千円	20, 014. 6	18, 989. 7	15, 214. 2	17, 936	
トータルコスト(A)+(B)			千円	261, 457. 6	245, 094. 7	234, 395. 2	239, 107	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由										
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	上位政策「快適生活空間都市をめざして」を推進するため「水道料金及び下水道使用料徴収事業」を実施しており，結びついている。 また，水道料金の収納率を向上させ，安定した歳入を確保する事は，上位施策の推進につながる。										
			☐ 結び付くが見直しの余地がある											
			☐ 結びつきが弱い・ない											
			☐ 評価対象外事項											
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	徴収率１００%を目標に業務を進め，経営基盤の安定を図る。										
			☒ 達成していない											
			☐ 評価対象外事項											
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	公益性の強い事務事業である為民営化には向かない。										
			☒ 可能性はない											
			☐ 評価対象外事項											
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	経営基盤の安定の為，対象・意図は現状のままで良い。										
			☐ 見直す必要がある											
☐ 評価対象外事項														
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	収納窓口の拡大に向けて、検討を進める。										
			☐ 効率性向上の可能性はある											
			☐ 両方可能性がある											
			☒ 可能性がない											
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等											
			☐ 臨時的任用職員等の活用											
			☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し											
			☐ 受益者負担の見直し											
			☐ 類似事業との統合・役割見直し							類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
			☐ 上記以外の方法								2		実施主体 (所管部署)	
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある											
			☐ ない											

コード	9920	事務事業名称	水道料金及び下水道使用料徴収費				所属名	給排水相談課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			19年度に長期継続契約を結び20年度より経費の節減と事務の簡素化を図った。契約内容を見直し、窓口の拡大について検討する。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止(事業完了含む)								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			長期継続契約を結ぶことにより、経費の節減と事務の簡素化を図った。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
未収金の回収に努める。									

所属長コメント	下水道使用料徴収費と密接に関連しており、使用者情報を共有して効率的に業務を進めている。収納窓口の拡大や積極的な滞納整理で収納率の更なる向上を図る必要がある。長期契約により経費の削減と事務の簡素化が行われた。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。但し、課題等については検討すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止(事業完了含む)									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									